

太陽系エリア

SOLAR SYSTEM ZONE

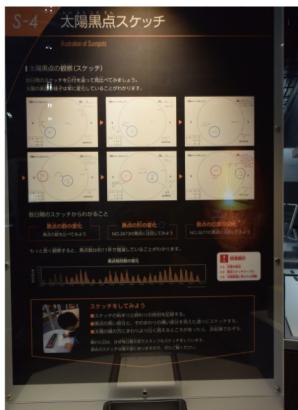
S-6 太陽構造断面模型

太陽は直径が地球の109倍もある巨大な高温のガス球です。中心では核融合によりエネルギーが発生し、放射(光)のエネルギーとして外側に向かって伝わっていきます。また、表面近くではガスの対流が発生しています。この模型は太陽の断面を示すもので、模型の前の円盤を矢印方向に回すと、エネルギーの伝わり方を見ることができます。



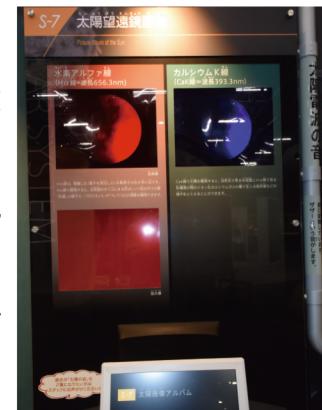
S-4 太陽黒点スケッチ

太陽望遠鏡の太陽画像から、黒点をスケッチして、黒点の位置や大きさ、形などを観察してみましょう。黒点はいつも同じ位置にあるわけではありません。どんなふうに変化するのかもパネルで確認してみてください。



S-7 太陽画像アルバム

太陽からは様々なエネルギーの光が放出されています。太陽を直接見ることは大変危険ですが、特定の波長の光だけを通すフィルターを取り付けたカメラで観察すると、通常の光だけでは観測できない太陽の表面で起こっている様々な現象を見るることができます。仙台市天文台では、こうした太陽の様子を常時観察しています。



S-5 太陽黒点スケッチテーブル

今の太陽の表面の様子が分かれています。このテーブルにスケッチの用紙をのせて、黒点を写してください。



S-9 太陽望遠鏡画像

今の太陽の様子を常時観察しています。表面には黒点が見られることがあります。



太陽系エリアでは、太陽の構造や太陽で起きる現象などを中心に、地球の兄弟星である太陽系の惑星も紹介します。



■展示解説シート

[写真提供] NASA/JPL

S-11 私たちの太陽系

太陽系には地球を含む8つの惑星が属します。これらの惑星には、どのような特徴があるのでしょうか。惑星を半割にした模型などで、各惑星の違いを見てみましょう。



S-12 月の姿(月球儀)

地球の衛星の月は、地球エリアでは身近な天体として紹介をしていますが、太陽系エリアでは、惑星の周りを回る衛星として紹介します。



S-14 太陽系外縁天体

私たちの地球が属する太陽系の外には、多くの小天体のグループがあり、多くの天体が発見されています。どんな天体が発見されているのでしょうか。

